

2026年度(後期)

理学療法学科 1 学年
教育計画

関東リハビリテーション専門学校

2026年度 教育計画（理学療法学科）

学 年： 1 科 目 名： 心理学 担当講師： 中山 麻子

単 位： 2 単位 教育時間： 30 時間

教科書： リハビシク 心理学・臨床心理学(医歯薬出版) 参考書： (出版社)：

教育目標 【到達目標】： 心理学の基礎知識を習得すること、および実践的な内容を通して、コミュニケーションスキルを身につけていくことを目標とする。

【講義概要】

近年は心の時代であり、人間理解をする上で心理学は欠かせない学問となった。本講義では心理学の成立と、この領域を学ぶ意義を紹介する。また、ディスカッションや心理検査を体験し、自分および他者について理解する力を身につけていく。

回数	項 目	内 容
1	心理学とは	授業概要の説明、心理学の意義
2	心理学の誕生と発展	心理学の目的、研究方法
3	感覚・知覚①	刺激閾、恒常性等
4	感覚・知覚②	注意、認知等
5	情動①	情動 2 要因説、動機づけ
6	情動②	パーソナリティ、社会の中での行動
7	記憶・学習①	記憶のしくみ、分類
8	記憶・学習②	学習理論
9	言語・概念①	言語理解、言語の障害
10	言語・概念②	概念のしくみ、思考と推理
11	発達と知能①	発達理論、エリクソンの発達段階
12	発達と知能②	乳児期から児童期
13	発達と知能③	青年期から老年期
14	まとめ	これまでの復習
15	まとめ	これまでの復習

【成績評価方法】 定期試験および平常点により、80点以上を A (優)、70点以上80点未満を B (良)、60点以上70点未満を C (可)とし、60点未満は不合格とする。なお、総授業時間の8割以上の出席者に対してのみ成績評価を行う。

【授業の方法・形式と教員紹介】 講義形式が基本である。
さらに授業の中で、ディスカッションや心理検査を体験する時間も設ける。

2026年度 教育計画（理学療法学科）

学 年 : 1 科 目 名 : スポーツ概論 I 担当講師 : 小平 健太郎

単 位 : 2 単位 教育時間 : 60 時間

教科書 : 百寿時代の運動・スポーツのトリセツ 参考書 :
(出版社) : -日本臨床スポーツ医学会からの提案- (出版社) :

教育目標 【到達目標】 : 1. 運動に対する体の適応や外傷、障害時の応急処置、運動強度の目安などを理解する

2. 障害者スポーツの現状を知り、疑似的な運動体験を通してその運動特性を理解する

3. ニュースポーツの概念を理解し、実際に体験や既存種目からの創造を行う

【講義概要】

トレーニングの基礎を理論と実技より理解していくとともに、外傷や障害発生時の対処方法について学ぶ。

また障がい者スポーツの現状の理解と運動特性についても実際に体験することで学んでいく。

回数	項 目	内 容
1	ガイダンス、オリエンテーション	講義展開の説明、運動の有効性と必要性
2	体力チェック①	簡易体力テスト、ロコモテスト
3	運動に伴うリスク	運動に伴う内科的・整形外科的リスク
4	体力チェック②	セルフチェックツールを用いた自身の体力チェック
5	運動の有効性と必要性	運動の必要性和有効性
6	映像学習	メタボリックシンドロームに至るメカニズムと運動の有効性について
7	コンディショニング、睡眠	コンディショニング・コンディショニングの考え方と睡眠のメカニズムについて
8	ストレッチング実技	セルフストレッチング、ペアストレッチングの実践
9	W-Upの考え方・内容	ウォーミングアップ（W-Up）に求められる要素、内容
10	C-Down、リカバリーの考え方・内容	リカバリー、クールダウン（C-Down）に求められる要素、内容
11	運動処方	運動処方の考え方、トレーニングの原理・原則について
12	トレーニング実践	自体重を用いた基本的なトレーニングの実践
13	映像学習：スポーツ科学	映像を用いて、トップ選手の身体適応やスポーツ科学の応用を学ぶ
14	トレーニング実践	自体重を用いた基本的なトレーニングの実践
15	中間レビュー	運動・スポーツを実践するために必要なことの振り返り①
16	中間レビュー	運動・スポーツを実践するために必要なことの振り返り②
17	様々な形のスポーツ	障害者スポーツやレクリエーションスポーツ、ゆるスポーツ
18	映像学習	映像を用いて、トップ選手の身体適応やスポーツ科学の応用を学ぶ
19	運動への適応	運動に伴う呼吸や循環の変化
20	トレーニング実践	自体重を用いた基本的なトレーニングの実践

2 1	運動強度の設定	心拍数やMET s を用いた運動強度の設定
2 2	加齢・老化と運動	加齢・老化に伴う機能低下と運動がもたらす効果
2 3	障がい者スポーツ	障がい者のスポーツ環境を取り巻く要因
2 4	障がい者スポーツ	障がい者スポーツについて動画等を活用して、理解を深める
2 5	障がい者スポーツ	障がい者スポーツについて動画等を活用して、理解を深める
2 6	障がい者スポーツ	障がい者スポーツについてグループワークでまとめる
2 7	障がい者スポーツ	障がい者スポーツについてグループワークでまとめる
2 8	障がい者スポーツ	障がい者スポーツについてのプレゼンテーション
2 9	総合演習	スポーツの在り方について
3 0	まとめ	総合確認
【成績評価方法】 定期試験の成績により、80点以上をA(優)、70点以上80点未満をB(良)、60点以上70点未満をC(可)とし、60点未満は不合格とする。なお、総授業時間の8割以上の出席者に対してのみ成績評価を行う。		
【授業の方法・形式と教員紹介】 競技やコンディショニングなどの実技を中心に講義を交えながら授業を進めていく。 運動部活動やスポーツチームでのトレーニング指導経験をもつ教員が担当する。		

2026年度 教育計画（理学療法学科）

学 年： 1 科 目 名： 解剖学Ⅱ 担当講師： 桑原 俊男

単 位： 2 単位 教育時間： 60 時間

教科書： 標準理学療法学・作業療法学 専門基礎分野 参考書：
(出版社)： 解剖学(医学書院) (出版社)：

教育目標 【到達目標】： 人体の構造（形態）は医学を学ぶ上で基本となる学問であり臨床学問の基礎となる部分です
からよく教科書を読んで学んでほしい。

【講義概要】

解剖学は人体の構造や形態を学ぶ学問である。この講義では理学療法士が理学療法を行う際に必要な解剖学的な知識について
学ぶ。

回数	項 目	内 容
1	末梢神経系	脊髄神経総論：前根・前枝、後根・後枝の定義と支配領域
2	末梢神経系	脊髄神経各論：頸神経の構成と支配領域
3	末梢神経系	脊髄神経各論：胸神経の構成と支配領域
4	末梢神経系	脊髄神経各論：腰神経の構成と支配領域
5	末梢神経系	脊髄神経各論：仙骨神経の構成と支配領域
6	末梢神経系	脊髄神経各論：脊髄神経まとめ
7	末梢神経系	脳神経総論：脳神経系の構成と支配領域
8	末梢神経系	脳神経各論：機能（1）
9	末梢神経系	脳神経各論：機能（2）
10	末梢神経系	自律神経総論：構成と機能支配領域
11	末梢神経系	自律神経各論：生体への反応（1）
12	末梢神経系	自律神経各論：生体への反応（2）
13	末梢神経系	末梢神経系：まとめ
14	特殊感覚	眼・耳・鼻・舌の構造
15	特殊感覚	眼・耳・鼻・舌の機能（1）
16	特殊感覚	眼・耳・鼻・舌の機能（2）
17	運動器系	筋細胞の種類
18	運動器系	筋の形態的分類
19	運動器系	頭頸部の筋
20	運動器系	体幹の筋

2 1	運動器系	下肢の筋
2 2	呼吸器系	呼吸器系の構成
2 3	呼吸器系	上気道の構造
2 4	呼吸器系	下気道の構造
2 5	消化器系	消化器系の構成
2 6	消化器系	胃・小腸・大腸の構造
2 7	消化器系	肝臓・胆嚢・膵臓の構造
2 8	泌尿器系	泌尿器系の構成
2 9	泌尿器系	腎臓の血管支配と尿生成 膀胱の構造と排尿メカニズム
3 0	まとめ	
【成績評価方法】 定期試験の成績により、80点以上をA(優)、70点以上80点未満をB(良)、60点以上70点未満をC(可)とし、60点未満は不合格とする。なお、総授業時間の8割以上の出席者に対してのみ成績評価を行う。		
【授業の方法・形式と教員紹介】 講義方式を基本とする。模型などを使い理解を深める時間を適宜取り入れる。		

2026年度 教育計画（理学療法学科）

学 年 : 1 科 目 名 : 生理学Ⅱ 担当講師 : 桑原 俊男

単 位 : 2 単位 教育時間 : 60 時間

教科書 (出版社) : 標準理学療法学・作業療法学 専門基礎分野 生理学(医学書院) 参考書 (出版社) :

教育目標 【到達目標】 : 医療人として、世の中でもっとも弱者である患者の治療を行なう理学療法士として、前期では、生理学の基礎力を養った。後期は、さらに、深い理解力を養い、国家試験での問題の意味が理解できる。

特に、良く出題される項目やキーワードを理解し説明できる。

【講義概要】

医療に携わる人にとって基礎医学を包含したヒトの生体機能を学ぶ生理学は欠かせない学問である。

後期では前期で学んだ生理学の基礎を基に、循環機能や神経、筋肉のメカニズムなど、より理学療法士に必要な内容を学習する。

回数	項 目	内 容
1	内分泌系 その1	ホルモンの化学的正常、細胞への作用機序
2	内分泌系 その2	ホルモン分泌のメカニズム (下垂体前葉・後葉)
3	内分泌系 その3	甲状腺・副甲状腺・副腎の各ホルモンの生理作用
4	内分泌系 その4	ホルモン分泌の異常
5	生殖器官系 その1	女性生殖器官の構造と機能
6	生殖器官系 その2	男性生殖器官の構造と機能
7	神経系 その1	神経系の構成と分類
8	神経系 その2	中枢神経の機能とグリア細胞の種類と機能
9	神経系 その3	大脳の機能局在 脳幹・小脳・間脳の機能
10	神経系 その4	脊髄の機能と運動神経の機能
11	神経系 その5	末梢神経の種類と機能
12	神経系 その6	〃
13	特殊感覚 その1	眼球・耳・鼻の構造と機能
14	特殊感覚 その2	視覚・聴覚・嗅覚・平衡感覚の伝導路
15	特殊感覚 その3	〃
16	代謝と体温	栄養素の代謝と体温調節機能
17	代謝と体温	〃
18	代謝と体温	〃
19	成長と老化	受精・妊娠・胎児発育機能
20	成長と老化	〃

2 1	成長と老化	〃
2 2	運動の生理機能	筋収縮メカニズムと呼吸機能
2 3	運動の生理機能	〃
2 4	運動の生理機能	〃
2 5	国家試験模擬問題	問題練習と解説
2 6	国家試験模擬問題	〃
2 7	総復習	1 ～ 2 7 回目までの総復習
2 8	総復習	〃
2 9	総復習	〃
3 0	総復習	〃
【成績評価方法】 定期試験の成績により、80点以上をA(優)、70点以上80点未満をB(良)、60点以上70点未満をC(可)とし、60点未満は不合格とする。なお、総授業時間の8割以上の出席者に対してのみ成績評価を行う。		
【授業の方法・形式と教員紹介】 講義方式を基本とする。模型などを使い理解を深める時間を適宜取り入れる。		

2026年度 教育計画（理学療法学科）

学 年 : 1 科 目 名 : 総合臨床医学

担当講師 : 渡邊 利明

単 位 : 2 単位 教育時間 : 30 時間

教科書 : リハビテーション薬理学・臨床薬理学（医歯薬出版）
（出版社） : リハビテーション生化学・栄養学（医歯薬出版）参考書 :
（出版社） :

教育目標 【到達目標】 :

主目的は、疾病の治療にかかわる「薬物の薬理学」および人体内反応の基礎である「生化学」に関して理解する

【講義概要】

「生化学・栄養学」は人体の機能や形態を科学的に考えるための基礎知識、この知識および「生理学」をもとに「薬理学」を学ぶことによって、人体の働きを科学（化学）的に考察し、疾病や治療の理解を深めるための基礎とする。

回数	項 目	内 容
1	生化学入門	生化学とは：生体内で、何らかの機能性を発揮する化学物質の化学反応について理解する
2	3大栄養素（糖質）	糖質の種類、栄養価（エネルギー化）、代謝（生成と分解）、作用について理解する
3	3大栄養素（タンパク質・アミノ酸）	タンパク質・アミノ酸の種類、栄養価（エネルギー化）、代謝（生成と分解）について理解する
4	3大栄養素（脂質）	脂質（中性脂肪 リポたんぱくを含む）の種類、栄養価（エネルギー化）、代謝（生成と分解）、作用について理解する
5	ホルモン・ビタミン	ホルモン（水溶性 脂溶性 ステロイド アミン ペプチド）等の種類、栄養価（エネルギー化）、代謝（生成と分解）、作用について理解する
6	治療における栄養法	上記栄養素を使用した治療法について理解する
7	まとめ1（振り返り考查による省察）	「生化学や栄養学についての振り返り」を行う
8	薬理学とは 薬物・医薬品とは	薬理学における薬物の分類、医薬品の分類とADMEについて理解する
9	薬理作用とは	体内における薬物（医薬品）の作用：受容体 チャネル 標的臓器 フィードバックについて、理解する
10	末梢神経疾患に関わる薬理学	神経変性疾患（パーキンソン病 アルツハイマー病）で使用されている薬物に関して、原因や病状とともに作用機序を理解する
11	精神疾患に関わる薬理学	精神疾患（統合失調症 うつ病）に使用されている薬物に関して、原因や病状とともに作用機序を理解する
12	循環器系疾患に関わる薬理学	心疾患や血管疾患を基盤とした代表的な循環器系疾患に使用されている薬物に関して、原因や病状とともに作用機序を理解する
13	疼痛・炎症に関わる薬理学	「痛み」「炎症」に関連する成因を基盤とする疾患に使用されている薬物に関して、原因や病状とともに作用機序を理解する
14	代謝性疾患に関わる薬理学	糖質・タンパク質・脂質の代謝異常に関連する成因を基盤とする疾患（糖尿病 高尿酸血症 脂質異常症）に使用されている薬物に関して、原因や病状とともに作用機序を理解する
15	まとめ2（振り返り考查による省察）	「薬理学についての振り返り」を行う

【成績評価方法】

「まとめ」の総合成績により、80点以上をA（優）、70点以上80点未満をB（良）、60点以上70点未満をC（可）とし、60点未満は不合格とする。なお、総授業時間の8割以上の出席者に対してのみ成績評価を行う。
総合成績は「まとめ」ならびに毎回の講義のレポート等は採点対象となる。

【授業の方法・形式と教員紹介】

- 指定した教科書を中心に、初日に講義内容と学習法について概要を説明する。
- B5版のノート、板書内容をノートに記載する3色のペンや鉛筆等の筆記用具を準備すること。
- 担当する渡邊は米国留学中の経験を活かし、ルービック法や総括したアクティブラーニング手法を用いたヒトの倫理観を兼ねそなえた講義を展開する。講義中や学習中、将来の理学療法士として、「常に目の前に患者さんのがいるという状況」を考えつつ、学習によって正しい知識をもって職業意識を支えておくという意識の高さが必要である。

2026年度 教育計画（理学療法学科）

学 年 : 1 科 目 名 : 病理学 担当講師 : 桑原 俊男

単 位 : 2 単位 教育時間 : 30 時間

教科書 (出版社) : はじめの一步の病理学 第2版(羊土社) 参考書 (出版社) :

教育目標 【到達目標】 : 疾患の病理学的メカニズムを理解する

【講義概要】

病理学は病気の原因や成り立ちを明らかにすることを目的とした学問である。本講義では各疾患の成因やメカニズムについて解説していく。

回数	項 目	内 容
1	循環器	循環器疾患の原因とメカニズム
2	〃	〃
3	呼吸器	呼吸器疾患のメカニズム
4	消化器	消化器疾患のメカニズム
5	〃	〃
6	神経系	神経系の疾患のメカニズム
7	〃	〃
8	尿路系	尿路系疾患のメカニズム
9	免疫系	免疫系の疾患のメカニズム
10	血液	血液疾患のメカニズム
11	〃	〃
12	内分泌	内分泌疾患のメカニズム
13	感染症	感染症について
14	代謝系	代謝疾患のメカニズム
15	まとめ	まとめ

【成績評価方法】 定期試験の成績により、80点以上をA(優)、70点以上80点未満をB(良)、60点以上70点未満をC(可)とし、60点未満は不合格とする。なお、総授業時間の8割以上の出席者に対してのみ成績評価を行う。

【授業の方法・形式と教員紹介】 講義方式を基本とし、スライドと資料をもって説明する。
臨床での知識と経験をお伝えしていきたい。

2026年度 教育計画（理学療法学科）

学 年 : 1 科 目 名 : 整形外科学

担当講師 : 大矢 暢久

単 位 : 2 単位 教育時間 : 30 時間

教科書 : 整形外科疾患ビジュアルブック第2版 (Gakken) (出版社)
参考書 : (出版社)

教育目標 【到達目標】 : (GIO) 学生が理学療法の評価・治療を円滑に実施できるようになるために、基本的な整形外科疾患についての知識を習得する。(SB0s) ①各疾患の誘因・原因、好発年齢・部位、分類、検査法、治療法を理解する。
②各疾患特有の整形外科的テストを理解し、実践できる。

【講義概要】

整形外科疾患、運動器（骨・関節・筋）疾患領域は理学療法士が臨床上、担当する機会の最も多い領域であろう。本講義の若年者、競技者のみならず、高齢者の骨関節疾患、脊髄損傷と治療・手術・リハビリテーション介入についても説明する。

回数	項 目	内 容
1	骨折1	骨折の総論（分類・治癒・治療）、小児の骨折、高齢者の骨折、骨折の合併症
2	骨折2	上肢、体幹の骨折
3	骨折3	下肢の骨折
4	肩関節疾患	肩関節周囲炎、腱板損傷
5	腱（靱帯）の損傷	手の腱損傷、半月板損傷、膝十字靱帯損傷、足関節靱帯損傷、アキレス腱断裂
6	腰痛症	腰痛症、腰椎椎間板ヘルニア、腰部脊柱管狭窄症、腰椎分離症、など
7	変形性関節症	変形性関節症、変形性股関節症、変形性膝関節症
8	脱臼	脱臼しやすい関節、肩・肘・股関節脱臼
9	末梢神経損傷	分類、手根管症候群、絞扼性神経障害
10	脊髄・脊椎疾患および損傷1	誘因・原因、検査・診断・分類、治療
11	脊髄・脊椎疾患および損傷2	残存レベルと可能な動作
12	関節リウマチ	診断基準、病理組織的所見、症状、検査所見、評価方法、治療
13	小児の整形外科疾患、切断	Perthes 病、二分脊椎、骨形成不全症、切断
14	その他	骨粗鬆症、骨壊死症、熱傷、CRPS
15	まとめ	

【成績評価方法】 定期試験の成績により、80点以上をA(優)、70点以上80点未満をB(良)、60点以上70点未満をC(可)とし、60点未満は不合格とする。なお、総授業時間の8割以上の出席者に対してのみ成績評価を行う。

【授業の方法・形式と教員紹介】

講義方式を基本とするが、治療実技については治療室、機能訓練室で実施する。急性期病院、整形外科クリニックで理学療法士として勤務した経験をお伝えする中で、受講生に運動器リハビリテーションや障がい者支援の重要性を知っていただきたい。

2026年度 教育計画（理学療法学科）

学 年 : 1 科 目 名 : 理学評価学Ⅰ[形態測定]

担当講師 : 降旗 悟志

単 位 : 2 単位 教育時間 : 60 時間

教科書 : 理学療法評価学 改定第6版補訂版（金原出版） 参考書 :
(出版社) (出版社)

教育目標 【到達目標】 : GIO;理学療法における評価の意義を理解し、障害に適した検査・測定項目を選択・実施する

ことができる。 SBO;①各検査・測定に必要な解剖学・生理学・運動学的知識を有する。

②信頼性・再現性のある検査・測定が実施できる。 ③検査測定の臨床的意義を説明できる。

【講義概要】

理学療法評価とは、理学療法対象者の障害像を捉えることである。

この授業では、理学療法評価の進め方や理学療法評価に必要な検査・測定の意義や方法について学ぶ。

回数	項 目	内 容
1	評価総論	オリエンテーション
2	評価総論	評価の意義、評価方法の種類
3	評価の基礎知識	検査測定に必要な解剖学・運動学の知識の確認
4	評価の基礎知識	検査測定に必要な解剖学・運動学の知識の確認
5	一般的評価事項	医療情報、病歴の取り方、現症、観察・検査・測定
6	形態測定	形態測定の意義・目的、身長・体重・体格指数
7	形態測定	四肢長
8	形態測定	四肢長
9	形態測定	周径
10	形態測定	周径
11	形態測定	関節可動域測定について
12	形態測定	股関節
13	ROM-T	股関節
14	ROM-T	股関節
15	ROM-T	膝関節・足関節
16	ROM-T	膝関節・足関節
17	ROM-T	肩関節・肩甲帯
18	ROM-T	肩関節・肩甲帯
19	ROM-T	肘関節・前腕
20	ROM-T	実技演習

2 1	ROM-T	形態測定・関節可動域測定 確認
2 2	ROM-T	形態測定・関節可動域測定 確認
2 3	ROM-T	手関節・手指
2 4	ROM-T	手関節・手指
2 5	ROM-T	頸部・体幹
2 6	ROM-T	頸部・体幹
2 7	形態測定・ROM-T	知識の整理と演習
2 8	形態測定・ROM-TT	知識の整理と演習
2 9	まとめ	形態測定・関節可動域測定のまとめ
3 0	まとめ	総合確認
【成績評価方法】 定期試験の成績により、80点以上をA(優)、70点以上80点未満をB(良)、60点以上70点未満をC(可)とし、60点未満は不合格とする。なお、総授業時間の8割以上の出席者に対してのみ成績評価を行う。		
【授業の方法・形式と教員紹介】 講義・実技を交えて授業を行う。 担当教員は理学療法士として、病院・介護施設・在宅にて骨・筋・関節、神経疾患のケースを担当し、その治療に携わる。 その過程で、理学療法評価全般のを経験する。		

2026年度 教育計画（理学療法学科）

学 年 : 1 科 目 名 : 理学療法治療学2〔物理療法〕

担当講師 : 藤瀬 幸一

単 位 : 2 単位 教育時間 : 60 時間

教科書 : 標準理学療法学 専門分野 物理療法学 第5版(医学書院) 参考書 : (出版社) :

教育目標 【到達目標】 : GIO:物理刺激を生体に加えることの意味を知った上で、臨床現場に必要な適応・禁忌を列挙し

実施する力を身に付ける。SBO:①物理刺激を生体に加えた際の反応について説明できる。②各種療法を比較し、それぞれの

療法の効果について説明できる。③各種療法を実施する際の必要事項を患者に説明できる。

【講義概要】

物理療法は、種々の物理的エネルギーを使用して行う治療法である。物理的エネルギーを生体を使用した際の効果や安全で効果的な機器の取り扱いなどについて学びます。

回数	項 目	内 容
1	物理療法総論、リスク管理	物理療法の定義、歴史、分類、物理療法におけるリスク管理
2	疼痛の物理療法	疼痛の基礎、疼痛に対する物理療法
3	温熱療法	熱エネルギー、温熱療法の生理学的作用、適応、禁忌、注意点
4	〃	〃
5	ホットパック	ホットパックの原理、生理学的作用、適応、禁忌、注意点、実技
6	パラフィン浴	パラフィン浴の原理、生理学的作用、適応、禁忌、注意点、実技
7	超短波・極超短波	超短波・極超短波の原理、生理学的作用、適応、禁忌、注意点、実技
8	〃	〃
9	超音波療法	超音波療法の原理、生理学的作用、適応、禁忌、注意点、実技
10	〃	〃
11	寒冷療法	寒冷療法の原理、生理学的作用、適応、禁忌、注意点、実技
12	〃	〃
13	水治療法	水治療法の原理、生理学的作用、適応、禁忌、注意点、実技
14	〃	〃
15	電気刺激療法	電気刺激療法の定義・分類、基礎と生理学的作用
16	〃	〃
17	電気刺激療法	神経筋電気刺激／治療的電気刺激の特徴、実施手順、禁忌・適応
18	〃	〃
19	電気刺激療法	経皮的電気刺激及び干渉波の特徴、実施手順、禁忌・適応
20	〃	〃

2 1	電気刺激療法	機能的電気刺激の原理、バイオフィードバック、電気診断
2 2	〃	〃
2 3	光線療法	光線療法の原理、生理学的作用、適応、禁忌、注意点、実技
2 4	〃	〃
2 5	頸椎牽引療法	頸椎牽引療法の原理、生理学的作用、適応、禁忌、注意点、実技
2 6	〃	〃
2 7	腰椎牽引療法	腰椎牽引療法の原理、生理学的作用、適応、禁忌、注意点、実技
2 8	〃	〃
2 9	まとめ	物理療法のまとめ
3 0	〃	〃
【成績評価方法】 定期試験の成績により、80点以上をA(優)、70点以上80点未満をB(良)、60点以上70点未満をC(可)とし、60点未満は不合格とする。なお、総授業時間の8割以上の出席者に対してのみ成績評価を行う。		
【授業の方法・形式と教員紹介】 講義方式を基本とするが、講義の後に物理療法の体験を行う。 担当教員は理学療法士として病院での勤務経験があり、実際に物理療法を患者に行っていた。その経験に基づき授業を展開する。		

2026年度 教育計画（理学療法学科）

学 年 : 1 科 目 名 : 地域理学療法学Ⅰ

担当講師 : 中川 智隆

単 位 : 2 単位 教育時間 : 30 時間

教科書 (出版社) : 地域リハビリテーション学テキスト (南江堂) 参考書 (出版社) :

教育目標 【到達目標】 : GI0:地域リハビリテーションの理念と理学療法士の役割を理解する

SBO: ①地域リハビリテーションに関する保険制度が説明できる ②多職種とのかかわりを具体的に説明できる

③医療・介護分野での理学療法士の役割を具体的に説明できる ④事例検討に参加し自分の考え述べることができる

【講義概要】

高齢者の方がご自宅で生活する上で必要な動作、福祉用具や住宅改修といったご自宅の環境について介護予防について

具体例を交えながら講義を行う。

回数	項 目	内 容
1	地域リハビリテーションの考え方	地域リハビリテーションの考え方について、ノーマライゼーションなど地域リハビリテーションの考え方を学ぶ
2	制度の変遷	制度の変遷を理解する
3	介護保険サービス概論	介護保険の仕組みについて
4	地域包括ケアシステムのなかでの理学療法士の役割	地域包括ケアシステムのなかでの理学療法士の役割について
5	地域支援事業のなかでの理学療法士の役割	地域支援事業のなかでの理学療法士の役割について
6	介護保険サービス下（生活支援場面）での理学療法（士）	生活支援にかかわる理学療法士の役割、介護保険施設サービス各種
7	介護保険サービス下（生活支援場面）での理学療法（士）	生活支援にかかわる理学療法士の役割、介護保険施設サービス各種
8	認知症について	認知症の症状と地域での取り組みについて
9	認知症について	認知症の症状と地域での取り組みについて
10	実地見学	障害者スポーツセンターを見学し、見聞を深める。
11	実地見学	障害者スポーツセンターを見学し、見聞を深める。
12	見学実習の発表	見学実習で学んだことを発表し共有化する
13	見学実習の発表	見学実習で学んだことを発表し共有化する
14	介護予防と健康増進	介護予防と健康増進の概念
15	まとめ	総合確認

【成績評価方法】 定期試験の成績により、80点以上をA（優）、70点以上80点未満をB（良）、60点以上70点未満をC（可）とし、60点未満は不合格とする。なお、総授業時間の8割以上の出席者に対してのみ成績評価を行う。

【授業の方法・形式と教員紹介】 講義方式と実習方式を基本とする。担当教員は訪問リハビリテーションや介護予防事業に携わった経験があり、実務経験を基に理学療法士として必要な知識が得られるよう、授業を進めていく。